

科目区分	専門教育科目	授業科目名	臨床心理学			科目コード	23L404	担当者	武藤 玲路			担当形態	単独	
対象学科・コース	生活創造学科 ビジネス・医療秘書コース	配当年次	2年次	開講学期	前期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	医療管理秘書士／診療実務士必修			
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び科目との関連										科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	臨床心理学に関する知識と活用法を学び、「病院」において患者様やスタッフとの人間関係の形成と維持に役立てる方法を修得する。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	授業の14回目に臨時試験を行い、15回目に採点結果の返却・解説をして、試験の結果をフィードバックする。
授業の方法	毎回の授業の前半はテキストに沿って基本的な用語や理論を修得し、後半はビデオ教材で日常的な問題の理解に取り組む。毎回の授業のリアクションペーパーや心理学の専門用語に関するプレゼンテーションを行う。	アクティブ・ラーニングの実施方法	

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	臨床心理学とは	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	第9回	心の病気の症状 4	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	
第2回	適性とは	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	第10回	心の病気の診断	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	
第3回	性格とは	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	第11回	心の病気の治療 1	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	
第4回	人間の発達 1	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	第12回	心の病気の治療 2	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	
第5回	人間の発達 2	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	第13回	心の病気の治療 3	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	
第6回	心の病気の症状 1	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	第14回	小テスト（筆記試験）	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	
第7回	心の病気の症状 2	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	第15回	小テストの解説、自由課題のプレゼンテーションとディスカッション	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。	
第8回	心の病気の症状 3	事前：小テストの範囲の予習90分。事後：小テストの範囲の復習90分。			事前・事後学修時間 (分／授業1回)	180分／授業1回

教科書 [書名／著者名／出版社]	教科書なし	受講生へのメッセージ	日頃から心理学に関する本を読んでおくと、講義内容の理解に役立ちます。
参考書 [書名／著者名／出版社]	なし		

評価基準																
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点比率(%) 学修成果の	評価方法の配点比率(%)					学修成果の小分類			尺度				
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S:100~90%)	レベル4 (A:89~80%)	レベル3 (B:79~70%)	レベル2 (C:69~60%)
観点	尽心	① 誠実性	10					10	授業への参加意識が欠如することなく、向上心を持って真面目に受講することができる。	勤勉性 真面目さ 自己管理能力	参加意識 提出物	欠如0回で10点。 提出物10回で10点。	欠如1回で8点。 提出物8回で8点。	欠如2回で6点。 提出物6回で6点。	欠如3回で4点。 提出物4回で4点。	欠如4回で2点。 提出物2回で2点。
		② 倫理観	10					10	私語や居眠りをする ことなく、人として守る べき善悪や是非の判断 ができる。	職業倫理 ルール 社会性	受講態度	注意0回で10点。	注意1回で8点。	注意2回で6点。	注意3回で4点。	注意4回で2点。
	知識・技能	③ 知識	40	30		10			心理学の理論や法則の 名称を覚えて、正しく 理解できる。	理解力 記憶力	専門用語の語群問題、○ ×問題	専門用語の90%以上を理 解して説明できる。30 点。	専門用語の80%以上を理 解して説明できる。24 点。	専門用語の70%以上を理 解して説明できる。18 点。	専門用語の60%以上を理 解して説明できる。12 点。	専門用語の50%以上を理 解して説明できる。6 点。
		④ 技能														
	創造	⑤ 数量的 スキル														
		⑥ 問題 解決力	20	10		10			日常生活の出来事につ いて、心理学の理論や 法則を用いて、的確に 説明できる。	問題発見力 論理的・創造的思考力	専門用語を用いた問題解 決の記述問題	専門用語の90%以上を 使用して説明できる。10 点。	専門用語の80%以上を 使用して説明できる。8 点。	専門用語の70%以上を 使用して説明できる。6 点。	専門用語の60%以上を 使用して説明できる。4 点。	専門用語の50%以上を 使用して説明できる。2 点。
		表現	⑦ 言語的 スキル	10	10					心理学の理論や法則に ついて、具体的な例を 用いて明確に記述でき る。	文章表現力 文章構成力	専門用語の定義と活用法 の記述問題	専門用語の定義と具体 例を90%以上説明でき る。10点。	専門用語の定義と具体 例を80%以上説明でき る。8点。	専門用語の定義と具体 例を70%以上説明でき る。6点。	専門用語の定義と具体 例を60%以上説明でき る。4点。
	⑧ コミュ ニケーション スキル		10				10		心理学の理論や法則に ついて、具体的な例を 用いて効果的にプレゼ ンできる。	プレゼンカ	専門用語を用いた自由課 題の発表	専門用語の内容と活用法 を90%以上プレゼンで きる。10点。	専門用語の内容と活用法 を80%以上プレゼンで きる。8点。	専門用語の内容と活用法 を70%以上プレゼン できる。6点。	専門用語の内容と活用法 を60%以上プレゼンで きる。4点。	専門用語の内容と活用法 を50%以上プレゼン できる。2点。
	実践	⑨ 主体性														
		⑩ 協働性														
合計			100	50		20	10	20								